

合理的配慮

合理的配慮とは・・・障がいを持つ人が障がいを持たない人と同様に日常生活や社会生活を送れるよう、妨げとなる社会的障壁を取り除くために、一人ひとりの状況に応じて行われる調整や変更の事をいいます。車いす移動での手助け、学校・公共施設等での利用上の工夫や配慮など、過度の負担にならない範囲で提供されるべきものとされています。

最近、名古屋城木造復元事業での市民討論会で、エレベーター設置に関して、出席者から障がい者への人権侵害ともとれる発言があり、話題になりました。市長はかねてから障がい者団体より、上層階へ車いす移動できるようエレベーターの設置を要望されておりましたが、1階から2階への小型昇降機を提案し、「とりあえず1、2階でお願いしたい。1、2階までだったら十分合理的配慮といえる。」と発言しました。車いす移動などが必要な方が、上層階まで行けないので、批判は多くあったそうです。市長のこの発言は、障がい者に対する配慮よりも、木造の完全復元を優先しているように取られかねません。障がい者にとって、その配慮が「必要かつ適当な程度や内容」であることが重要だという点が、合理的配慮の理解にあたっては大切です。

昨年度より行政機関等においては、「合理的配慮」が義務化されており、来年度（令和6年4月）より事業者に対しても義務化されます。四国中央市でも、障がい者への差別解消に向けて、令和3年度に『四国中央市障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる愛ある社会を目指す条例』が施行されています。すべての人が共に暮らす中で、バリア（障壁）のない社会にしていくためには、「心のバリアフリー」が不可欠です。お互いのことを思い合いながら生活をして、協力が必要なことは連携して、行動することが求められています。

社会全体で障がいを理由とする差別の解消を目指すには、普段から障がいのあるなしに関わらず、配慮の気持ちを忘れずに行動していくことが大切です。様々な立場の人の目線に立って、生活上での不便なことは何かと常に気配りできるようになれば、どんな立場の人にとっても、過ごしやすい社会になると思います。まずはできることから始めませんか？

りんぽかん かわのえ隣保館だより

ねん がつはっこうごう
2023年8月発行号

性の多様性

7月11日、女性を自認するトランスジェンダーの経済産業省職員の女性トイレ使用制限に関して、最高裁判所は省内の女性トイレの使用制限が違法であるという判決を下しました。6月には、国会で「LGBT理解増進法」が成立し、性の多様性についてメディアで数多く取り上げられておりますが、果たして、「知っている」＝「理解している」と言えるでしょうか？

人はそれぞれ考え方や個性が違い、性の表し方も、人それぞれで多様です。これまでは性についての理解が進んでいないこともあり、差別される可能性があることを危惧して、自分の心をオープンにできずに悩んできた人もいたり、勇気を出してオープンにしたとしても、周囲に理解してもらえず、逆に心無い声に晒されるケースも多くあったと思います。

ただ、性的マイノリティというだけで、普通に暮らすことに対して今まではあまりにも障壁がありすぎた気がします。これからその状況が徐々に変化していき、様々な人の交流が深まることと思います。それぞれがお互いの個性や考え方を、認め合えるようになれば、本人が納得する自分らしい性を表現できる世の中になり、誰もが安心して暮らせる明るい未来につながるとおもいます。



かわのえりんぽかん
川之江隣保館
TEL:0896-28-6254
FAX:0896-28-6254



かわのえ 川之江ふれあい料理教室(仮)

料理教室の開講を検討しています。

料理は持ち帰り予定です。

詳細につきましては、決定次第、隣保館だよりでお知らせします。

がっ かの えりんぽかん ぎょうじよてい
8月 川之江隣保館 行事予定

じょうきよう よてい へんこう
 状況により、予定が変更されることがあります。

日(にちようび)	月(げつようび)	火(かようび)	水(すいようび)	木(もくようび)	金(きんようび)	土(どようび)
		1 たいきょけん ・太極拳	2 ちよきんたいそう ・貯筋体操(スイートピー)	3	4	5 しきじがっきゅう ・識字学級
6	7 ちよきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり)	8 たいきょけん ・太極拳	9 ちよきんたいそう ・貯筋体操(スイートピー)	10	11 やま ひ 山の日	12 きゅうじつかいかんび 休日開館日 たつきゅう ・卓球クラブ
13	14	15	16	17	18	19
20	21 ちよきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり)	22 たいきょけん ・太極拳	23 ちよきんたいそう ・貯筋体操(スイートピー)	24	25 ・キャンサーサロン桜	26 きゅうじつかいかんび 休日開館日 たつきゅう ・卓球クラブ
27 きゅうじつかいかんび 休日開館日 しきじがっきゅう ・識字学級 せいめいそんちようどくしよかい ・生命尊重読書会	28 ちよきんたいそう ・貯筋体操(ひまわり)	29 たいきょけん ・太極拳	30	31		

なや
悩んでいることはありませんか？

りんぽかん じんけん かか なや そうだん まどぐち しよくぼ
 隣保館は、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。「職場でのハラスメント」

しよくぼ がっこう い なん そうだん
 「職場や学校に行けない」など何でも相談してください。

また、ハローワークの職業相談は、電話による予約制となっています。

かわの えりんぽかん
 川之江隣保館 TEL・FAX 28-6254

ハーフについて

にほん ちが こくせき も
 日本で「ハーフ」というと、違う国籍を持つ
 りようしん う こ
 両親から生まれた子どものことを指します。
 「ハーフ」という言葉は、にほん じょうぽんてき
 日本では一般的で
 ふか ねづ つか
 あり、深く根付いているため、よく使われています。

しかし、「ハーフ」という言葉は、直接的な
 ことば ちよくせつてき
 意味だけで考えてみると、『2つの個性を
 い み かんが こせい
 半分ずつくっつけた』となり、人を表現する
 はんぶん ひと ひようげん
 言葉として「ハーフ」という呼び方に違和感
 ことば よ かた いわかん
 を覚える方もいらっしゃるようです。そのため、「2つの個性を足し合わせた」「親の2つ
 おぼ かた
 のルーツを受け継ぐ」という意味合いを
 こせい た あ おや
 肯定的に捉えた「ダブル」という呼び方を使
 こうてい き とら よ かた つか
 う方もいらっしゃいます。他にも、「ミックス」
 かた ほか
 「パート」「Hafu」などの呼称もあります。

その呼び方が、良いイメージかそうでない
 よ かた よ
 かは発言する側、受け取る側によって異なります。ただ、日本に浸透しており、よく使われて
 はつげん がわ う と がわ こと
 いる言葉でも、立ち止まって考えたり、状況に
 ことば た ど かんが じょうきよう
 応じて、受け取る相手がどう感じるか、思いを
 おう う と あいて かん おも
 馳せることは大切です。それよりも大事なことは、呼び方や容姿に捉われず、目の前の人を
 は よ かた ようし とら め まえ ひと
 「一人の人間」として接することではないでしょ
 ひとり にんげん せつ
 うか。それが相互理解につながり、ひいてはお
 ひたが そんちよう あ だいいっぽ おも
 互いを尊重し合える第一歩につながると思
 います。